

## 学習保証時間及び学習・教育目標達成度計算表の記入要領

## 《重要事項》

- (1) 「学習保証時間計算表」、「学習・教育目標達成度計算表」、「参考付表1」、「参考付表2」及び「学習保証時間及び学習・教育目標達成度計算表の記入要領」(本紙)は、卒業するまで大切に保管する。
- (2) 各学期の成績表を受領した後、速やかに下記に従って、「学習保証時間計算表」及び「学習・教育目標達成度計算表」へ必要事項を各自で記載しておくこと。また、これらの計算表は、定期的に提出させてチェックするので、その指示があった際にはそれに従うこと。
- (3) 各自でその都度行う計算結果に基づいて、学習保証時間及び学習・教育目標の達成に関わる科目履修計画に役立てること。
- (4) 入学時点ではなく、新たな科目が在学中に開講等された場合、その都度、当該科目の項目別時間配分や学習・教育目標の各項目との関連について連絡するので、その科目の単位を取得した際には、それに基づき計算を行うこと。
- (5) その他、記入上で不明の点があれば、担任等の担当教官に伝え、指示を仰ぐこと。

## 《記入要領》

## ・学習・教育目標達成度計算表について

- (1) 用紙の左上に氏名及び学籍番号を必ず記載しておく。
- (2) 「参考付表2」を利用する。これに掲載されている(A)~(G)の各目標の達成度の指標となる科目(一部は授業科目)の単位を取得した場合には、該当する目標と単位取得学期の欄に、その科目名(一部は授業科目)をすべて記入する(例:専門教育科目の専門Aである「測量学」及び「線形代数学」の単位を1年後期に取得したら、目標(B)の1年後期の欄にそれらの科目名を記入する)。
- (3) 各欄の下部にある「科目数」には、上記に従って各欄に記載した科目数の合計を記入する(例:(1)に示した例の場合、科目数は、「2」となる)。さらに、各欄において、点線の下にある「累計%」は、各目標に対して、1年前期から当該学期までに取得した科目数の合計を備考欄に書かれている式に従い計算した百分率を記入する(ただし、1年前期と4年後期における累積%の計算は不要)。
- (4) 各目標の列の下から3行目にある「合計」欄には、1年前期~4年後期までの最終的な累積%を記入する。この値が(A)~(G)までの各目標とも100%またはそれを超えない場合は条件を満たしていないことになる。
- (5) 再試験により該当する科目の単位を取得した場合には、その授業が本来開講されていた学年学期の欄ではなく、各自が単位を取得した学年学期の欄にその科目名等を記入すること
- (6) 留年や休学等で同じ学年学期を繰り返している場合(例えば、2回目の2年生や2回目の3年

生等) 留まっている学年学期に対応した欄に単位を取得した該当科目名を随時加えて記入し、当該欄の「科目数」や「累積%」を更新していくこと。

・学習保証時間の計算表について

- (1) 「参考付表1」を利用する。この表は、全開講科目のそれぞれに対する実質的授業時間を各項目別(「人文科学・社会科学・語学等」、「数学・自然科学・情報技術」、「専門分野(要件(1)からその他の8つ細分)」)に配分して記載されている。各学期に単位を取得した科目(科目名が同じでも授業題目が異なっていて単位が認定されている場合は、それぞれを独立した科目とみなす)のそれぞれについて、「参考付表1」に基づいて、該当する項目別の時間数を読み取り、計算表の該当する欄にすべて記載していく。
- (2) 「参考付表1」の中で、教養教育科目の「英語」は4単位分の総計時間である90時間を記載している。1単位あたりは、22.5時間であるので、「英語」を1単位取得するごとに、取得した学期に22.5時間を記入すること。
- (3) 各学期における項目別の欄のそれぞれについて、合計時間を計算して、「小計:」欄に記入する。
- (4) 専門分野の学習時間については、(3)の後に、要件(1)~要件(7)及びその他までの小計を加え合わせその値を、該当学期の「専門分野合計」列の「学期小計:」欄に記入する。
- (5) (4)の後、当該学期における、「人文科学・社会科学・語学等」及び「数学・自然科学・情報技術」の「小計:」欄と「専門分野の合計」の「学期小計:」欄の時間数を合計し、「総学習保証時間」列の「学期小計:」欄に記入する。
- (6) 「人文科学・社会科学・語学等」、「数学・自然科学・情報技術」及び「専門分野」の要件(1)~その他の各欄にある「累計:」には、1年前期から当該学期までにおける各項目(列ごと)別の積算時間を計算して記入する。
- (7) 計算表の下から2行目にある「合計」欄には、各項目別の1年前期から4年後期までの最終的な合計時間を記入する。最終的な総学習保証時間は、「総学習保証時間」列の合計の欄に記入されることになる(最右列の下から2行目の欄)。
- (8) 再試験により該当する科目の単位を取得した場合には、その授業が本来開講されていた学年学期の欄にではなく、その科目の単位を実際に取得した学年学期の欄にその項目別時間配分に従い、学習時間を記入すること。
- (9) 留年や休学等で同じ学年学期を繰り返している場合、留まっている学年学期に対応した欄において、単位を取得した科目の項目別配分時間を随時加えて記入し、それに合わせて、「小計:」や「累計:」等の計算値を更新すること。

以上



参考付表1 授業科目別学習保証時間および各授業科目の学習・教育目標一つ一つに対する関与の程度(平成19年度入学生)

区分	科目群	授業科目名等				単位数	区分別必要単位数	必要単位数	必須・選択等の別	学年・学期	授業種別	合計時間数[時間]	学習保証時間 [時間]											学習・教育目標	備考									
		科目区分	授業科目	授業題目	学習内容の区分																													
					専門分野								授業形態																					
専門教育科目	専門A	社会環境工学実験	1	1	3・後	実験	33.75						3	30.75				33.75	1.5	1	31.25		◎	◎	◎	◎	◎	◎	「社会環境工学実験Ⅱ」に名称変更(H19年度)					
		推進力学演習	1	1	3・前	演習	22.5					22.5						22.5						◎					◎					
		地盤力学演習	1	1	3・前	演習	22.5			7.5	15							22.5	7.5	15				◎					◎					
		水理学演習	1	1	3・前	演習	22.5			5	17.5							22.5	5	17.5				◎				◎						
		都市工学演習	1	1	3・後	演習	22.5			10	12.5							22.5		22.5				◎					◎					
		情報処理	1	1	2・後	講義	22.5		22.5										10	12.5				◎					◎		1単位に変更(H19年度)			
		社会環境工学概論	2	2	1・前	講義	22.5			20								22.5	22.5					◎	◎	◎	◎	◎						
		卒業研究	8	8	4・前後	研究	450				90	40	300	20				450	30	60	160	200			◎	◎	◎	◎	◎					
		専門B	☆ベクトル解析	2	5以上	2・前	講義	22.5		22.5								22.5	22.5					◎	◎							「ベクトル解析」に名称変更(H14年度)		
			☆複素解析	2		2・後	講義	22.5		22.5									22.5	22.5					◎	◎							「複素解析」に名称変更(H14年度)	
			☆偏微分方程式	2		3・前	講義	22.5		22.5									22.5	22.5					◎	◎							「偏微分方程式」に名称変更(H14年度)	
			☆微分方程式演習	1		2・前	演習	22.5		22.5										22.5		22.5				◎	◎			◎				「微分方程式演習」に名称変更(H14年度)
			☆振動・波動	2		2・前	講義	22.5		22.5									22.5	22.5						◎	◎							「振動・波動」に名称変更(H15年度)
			☆基礎電磁気学	2		2・後	講義	22.5		22.5									22.5	22.5						◎	◎							「基礎電磁気学」に名称変更(H15年度)
	環境工学基礎		2	2・前		講義	22.5		22.5	2	6	2						20.5	22.5						◎	◎	◎							
	環境工学概論		2	2・後		講義	22.5		22.5			15						22.5	22.5						◎	◎								
	数値解法基礎		2	3・後		講義	22.5		22.5		5	12.5						22.5	10	12.5					◎	◎								「数値解法基礎」に名称変更(H19年度)
	建設材料学		2	2・前		講義	22.5		22.5									22.5	22.5						◎	◎								
	強靱性学		2	2・後		講義	22.5		22.5									22.5	20	2.5					◎									
	防災工学		2	3・前		講義	22.5		22.5									22.5	22.5						◎	◎								
	水文学		2	3・後		講義	22.5		22.5		7		8.5					22.5	12.5	7		10			◎	◎	◎							
	公共経済学		2	2・前		講義	22.5		22.5			22.5						22.5	22.5						◎									
	コンクリート工学Ⅱ		2	3・後	講義	22.5		22.5			22.5						22.5	22.5						◎										
	環境整備工学Ⅱ		2	3・後	講義	22.5		22.5		16	2	2.5					22.5	22.5						◎	◎	◎								
	河川工学		2	3・後	講義	22.5		22.5		17.5							22.5	22.5						◎	◎	◎								
	地盤環境工学		2	3・前	講義	22.5		22.5		12.5							22.5	22.5						◎	◎									
	耐震工学		2	3・後	講義	22.5		22.5		20							22.5	20	2.5					◎	◎									
	交通工学		2	3・後	講義	22.5		22.5		15							22.5	22.5						◎	◎	◎							3・後から3・前へ開講時期変更(H14年度)	
	都市開発工学		2	3・前	講義	22.5		22.5		15							22.5	22.5						◎	◎								3・前から3・後へ開講時期変更(H14年度)	
	鋼構造工学		2	3・後	講義	22.5		22.5		15		7.5					22.5	22.5						◎	◎								「鋼構造工学」に名称変更(H13年度)	
	廃棄物管理工学	2	3・前	講義	22.5		22.5		17.5							22.5	22.5						◎	◎										
	河川環境保全工学	2	3・後	講義	22.5		22.5		10		7.5					22.5	15	7.5					◎	◎								河川環境保全工学に名称変更(H19年度)		
	建築概論	2	3・前	講義	22.5		22.5									22.5	22.5						◎	◎	◎							4・前から3・前へ開講時期変更(H13年度)		
	専門C	環境微生物学	2	2・前	講義	22.5		22.5		12.5						22.5	22.5						◎	◎								他学科開講科目		
		確率統計	2	2・後	講義	22.5		22.5									22.5	22.5						◎	◎									
		安全工学	2	4・前	講義	22.5		22.5								7.5	15		22.5	22.5				◎	◎									
インターンシップⅠ		1	2-4・前後	実習	33.75		33.75				3.75	15	15			33.75				33.75				◎										
インターンシップⅡ		1	2-4・前後	実習	33.75		33.75				3.75	15	15			33.75				33.75					◎									
その他(他学科等開講科目)		1 or 2	2-4・前後	講義	22.5		22.5									2.5	20	22.5	22.5					◎								他学科等の開講科目で10単位まで卒業単位として認める		

**参考付表 2**

**学習・教育目標に対する評価基準対象のうち必須科目で主体的に関与する科目一覧  
(平成 19 年度入学生用)**

学習・教育目標	該当科目等	
(A)	個別指定科目	情報処理入門、健康学原論、健康・スポーツ科学、微分積分学、微分積分学Ⅱ、線形代数学Ⅰ、力学、力学演習、物理学実験、化学演習、化学実験、地学、線形代数学Ⅱ、計画理論Ⅰ、環境水質工学、情報処理の計 16 科目
	選択科目	教養教育科目のうち、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、中国語、スペイン語、韓国語、哲学、倫理学、文学、心理学、歴史学、考古学、芸術、法学、日本国憲法、政治学、経済学、社会学、文化人類学、地理学、教育学、地球科学、生命科学、数理科学、物質科学、総合科目（但し、科学的把握の技術者原論は除く）、の中から 5 授業題目以上（同一授業科目でも異なる授業題目の単位を修得した場合にはその全授業題目が対象となる）
(B)	個別指定科目	専門教育科目の専門 A のうち、専門外国語、技術英語および情報処理をのぞく計 26 科目
(C)	個別指定科目	学修原論（地域の安全と環境、2 年前期）、技術者原論、環境水質工学、環境整備工学Ⅰの計 4 科目
(D)	個別指定科目	学修原論（2 年前期・地域の安全と環境）、環境整備工学Ⅰ、測量学実習、卒業研究の計 4 科目
	選択科目	学修原論(1 年次開講分) (1 年次開講の学修原論を複数履修した場合にはそのすべてを数える)
(E)	個別指定科目	学修原論（2 年前期・地域の安全と環境）、英語 4 単位、専門外国語、技術英語、社会環境工学実験Ⅰ、社会環境工学実験Ⅱ、卒業研究の計 10 科目（英語の 4 単位は 1 単位ごとに 1 科目とし、専門外国語は前・後期をそれぞれ 1 科目として数える）
(F)	個別指定科目	学修原論（2 年前期・地域の安全と環境）、計画理論Ⅰ、測量学実習、社会環境工学実験Ⅰ、社会環境工学実験Ⅱ、卒業研究の計 6 科目
(G)	個別指定科目	社会環境工学実験Ⅰ、社会環境工学実験Ⅱ、卒業研究の計 3 科目

	目標(A)	目標(B)	目標(C)	目標(D)	目標(E)	目標(F)	目標(G)
1年前期	科目数:	科目数:	科目数:	科目数:	科目数:	科目数:	科目数:
1年後期	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%
2年前期	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%
2年後期	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%
3年前期	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%
3年後期	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%
4年前期	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%	科目数: 累計%
4年後期	科目数:	科目数:	科目数:	科目数:	科目数:	科目数:	科目数:
合計	%	%	%	%	%	%	%
最終必要条件	100%以上	100%	100%	100%以上	100%	100%	100%
備考	累積取得科目数÷21×100	累積取得科目数÷26×100	累積取得科目数÷4×100	累積取得科目数÷4×100	累積取得科目数÷10×100	累積取得科目数÷6×100	累積取得科目数÷3×100

学籍番号

氏名

学習保証時間の計算表

単位:[時間]

	人文科学・社会科学・語学等	数学・自然科学・情報技術	専門分野								専門分野合計	総学習保証時間	
			要件(1)	要件(2)	要件(3)	要件(4)	要件(5)	要件(6)	要件(7)	その他			
1年前期												学期小計:	学期小計:
	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:		
1年後期												学期小計:	学期小計:
	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	累計:	累計:
2年前期												学期小計:	学期小計:
	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	累計:	累計:
2年後期												学期小計:	学期小計:
	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	累計:	累計:
3年前期												学期小計:	学期小計:
	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	累計:	累計:
3年後期												学期小計:	学期小計:
	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	累計:	累計:
4年前期												学期小計:	学期小計:
	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	累計:	累計:
4年後期												学期小計:	学期小計:
	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:	小計:		
合計													
最終必要条件	250時間以上	250時間以上	備考: 「専門分野」は「要件(1)」から「その他」までの8項目で構成されている。									900時間以上	1800時間以上